

令和2年度県政アンケート調査

ご記入にあたってのお願い

- 封筒の宛名となっている方、ご本人がご回答ください。
(ただし、ご本人が長期不在などでご回答になれない場合は、ご家族の方などが代わってお答えください。)
- この調査は無記名式です。お名前、ご住所をご記入いただく必要はありません。
- 黒か青のボールペン、またはえんぴつで調査票に直接ご記入ください。
- ご回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。また、設問によってご回答していただく方が限られる場合がありますので、設問をよくお読みいただき、ご回答ください。
- 「その他」を選ばれた場合は、()内に簡潔に具体的内容をご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れて、8月31日(月)までにご返送ください。

● 調査結果の公表予定について

公表時期は1月頃を予定しております

① 県ホームページに掲載

<http://www.pref.yamagata.jp/>

② 県・総合支庁の窓口に備え付け

● 調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします

山形県 みらい企画創造部 企画調整課

担 当：企画担当／太田、浅沼

電 話：023-630-2125 (直通)

023-630-2211 (代表、内線 2125)

F A X：023-624-2775

最初に、あなたご自身のことについて、おうかがいします。

(性別や年齢による分類等、統計的に分析するためです。)

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ) (N=2,791)

(49.1%) 1. 男性 (50.9%) 2. 女性

F 2 あなたのお年は、満でおいくつですか。(○は1つ) (N=2,791)

(9.0%) 1. 18～29歳 (17.0%) 3. 40～49歳 (13.3%) 5. 60～64歳
(9.9%) 2. 30～39歳 (20.2%) 4. 50～59歳 (30.4%) 6. 65歳以上

F 3 あなたのお仕事は何ですか。(○は1つ) (N=2,791)

(11.9%) 1. 自営業
(4.3%) 2. 会社経営者、役員
(34.4%) 3. 常用雇用者※¹
(11.9%) 4. 臨時雇用者※² (パート・アルバイトなど)
(7.0%) 5. 公務員
(8.7%) 6. 専業主婦 (主夫)
(14.5%) 7. 無職
(2.7%) 8. 学生
(2.9%) 9. その他 ()

《1～4を選んだ方へおうかがいします》
職業の分野は何ですか。(○は1つ)

(11.8%) 1. 農林水産業 (N=1,747)
(9.4%) 2. 建築・土木業
(21.6%) 3. 製造業
(30.9%) 4. 商業・サービス業
(20.7%) 5. その他 ()

※1：期間を定めずに又は1年を超える期間を定めて雇われている人

※2：日々又は1年以内の期間を定めて雇われている人

F 4 あなたは結婚していらっしゃいますか。(○は1つ) (N=2,791)

(21.1%) 1. 未婚 (68.1%) 2. 既婚 (10.6%) 3. 離婚・死別

F 5 いま一緒に暮らしているご家族を教えてください。(○はいくつでも) (N=2,791)

(9.4%) 1. 乳幼児 (8.7%) 4. 高校生 (1.5%) 7. 専門学校生
(12.8%) 2. 小学生 (2.9%) 5. 大学生 (58.1%) 8. 65歳以上の高齢者
(8.3%) 3. 中学生 (0.3%) 6. 大学院生 (23.4%) 9. 該当者はいない

F 6 あなたは、どなたと同居されていますか。(○はいくつでも) (N=2,791)

(65.5%) 1. 配偶者 (8.3%) 4. 孫 (6.6%) 7. 一人暮らし
(43.6%) 2. 子ども (9.0%) 5. 祖父・祖母 (1.2%) 8. その他 ()
(41.0%) 3. 親 (8.4%) 6. 兄弟・姉妹

F 7 あなたのお住まいは次のどれにあてはまりますか。(○は1つ) (N=2,791)

(69.2%) 1. 住宅地域 (2.0%) 2. 商業地域 (16.3%) 3. 農漁村地域 (11.9%) 4. 山間地域

お住まいの市町村名をお書きください

「県の情報発信」について、おうかがいします。

問1 県では、様々な手段により、県の取組み、各種イベント等の情報を発信しています。あなたは、県が行っている情報発信について、十分届いていると評価しますか。(〇は1つ) (N=2,791)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| (11.2%) 1. 評価する | (25.0%) 3. あまり評価しない |
| (56.8%) 2. ある程度評価する | (4.3%) 4. まったく評価しない |

問2 あなたが、県の情報発信の手段として、更に「充実してほしい」または「充実すべき」と思うものを次の中からお選びください。(〇は3つまで) (N=2,791)

- | | |
|--|--------------------|
| (65.0%) 1. テレビ | (2.0%) 11. その他 [] |
| (16.8%) 2. ラジオ | |
| (39.5%) 3. 新聞 | |
| (33.2%) 4. 山形県が発行する各種印刷物 (広報誌、ポスター、パンフレット等) | |
| (17.9%) 5. 山形県ホームページ | |
| (20.3%) 6. WEB媒体 (山形県公式SNS、動画配信等) ※「5. 山形県ホームページ」を除く | |
| (5.2%) 7. 山形県が配信するメールマガジン | |
| (19.2%) 8. 民間が発行する各種印刷物 (雑誌、フリーペーパー等) | |
| (3.1%) 9. 民間広告媒体 (バス車内広告、駅構内広告等) | |
| (14.8%) 10. イベント (トップセールス、物産展等) | |

問3 あなたが、県の情報発信について、更に「充実してほしい」または「充実すべき」と思う分野を次の中からお選びください。(〇はいくつでも) (N=2,791)

- | | | |
|------------------------|----------------------|-----------------------|
| (19.7%) 1. 県行財政 | (28.9%) 8. 子育て | (18.7%) 15. 文化・芸術 |
| (31.5%) 2. まちづくり | (20.4%) 9. 若者応援 | (11.9%) 16. スポーツ |
| (23.7%) 3. 交通インフラ | (56.1%) 10. 医療・福祉・介護 | (6.7%) 17. ボランティア・NPO |
| (13.5%) 4. 環境・エコ・エネルギー | (25.5%) 11. 産業・雇用 | (13.7%) 18. 農林水産業 |
| (36.0%) 5. 防災・救急 | (11.2%) 12. 移住・定住 | (20.0%) 19. 学校教育・生涯学習 |
| (18.3%) 6. 防犯・交通安全 | (26.9%) 13. 観光 | (1.7%) 20. その他 [] |
| (22.5%) 7. 消費生活 | (4.2%) 14. 国際交流 | |

「県立図書館」について、おうかがいします。

問4 あなたは、県立図書館に行ったことがありますか。また、行ったことがある場合、その目的は何でしたか。(〇は1つ) (N=2,791)

- | | |
|---|---|
| (0.2%) 1. 週に複数回、行っている | (15.5%) 6. 行ったことはないが、今後行ってみたい、又は宅配サービス等を利用してみたい |
| (0.7%) 2. 月に複数回、行っている | (62.2%) 7. 行ったことはなく、今のところ行く予定はない |
| (4.4%) 3. 年に複数回、行っている | |
| (12.0%) 4. 年に1回または数年に1回、行っている | |
| (2.1%) 5. 行ったことはないが、市町村立図書館を通して、又は宅配サービスを利用して県立図書館の図書等を借りたことがある | |

→【問5へ】

- | | |
|--|---|
| (48.5%) 1. 本や雑誌・DVD等を借りる | (7.7%) 8. 資料や本をコピーする |
| (37.3%) 2. 館内で本や雑誌・新聞を読む | (10.4%) 9. 外の景色を眺めたり、コーヒーを飲んだり、ゆっくりした時間を過ごす |
| (2.5%) 3. 館内でDVDを見たり、
CDを聴いたりする | (19.5%) 10. 学習スペースを利用する |
| (12.7%) 4. 郷土の歴史や文化を調べる | (7.5%) 11. その他 |
| (6.8%) 5. 調べたいことについて、調査相談
(レファレンス) する |) |
| (11.4%) 6. 企画展示や講座を利用する | |
| (2.5%) 7. インターネットやデータベースを利用する | |

問5 令和2年2月にリニューアルオープンした県立図書館ですが、リニューアルに伴い、機能等が新設・拡充されました。あなたは、今回のリニューアルオープンにより新設・拡充された機能等について知っていますか。（知っているものすべてに○）

(N=2,791)

- (6.7%) 1. 手に取ってみることのできる図書の増加（約1.2倍）
- (6.8%) 2. 読み聞かせができるおはなしの部屋を備え、
多くの児童書を揃えた「こどもエリア」の新設
- (3.8%) 3. 授乳室やおむつ替えシートを備えた「赤ちゃん休憩室」の新設
- (2.2%) 4. 中高生を対象とした図書を揃えた「ティーンズコーナー」の新設
- (1.9%) 5. 仕事に役立つ図書を揃えた「ビジネス支援コーナー」の新設
- (1.7%) 6. 電子黒板システムを設置し調べ学習ができる「アクティブラーニングルーム」の新設
- (0.8%) 7. 活字による読書が困難な方向けの「対面朗読室」の新設
- (7.0%) 8. 館内で読書を楽しんでいただける閲覧席の増加（約2.7倍）
- (3.5%) 9. 静寂な環境で読書、調べものができる「サイレントルーム」の新設
- (3.1%) 10. 館内全エリアで利用できる無料Wi-Fiの新設
- (4.3%) 11. 近隣（西隣）に遊学館駐車場を新設（40台）
- (2.7%) 12. 開館日の拡大（毎週月曜日休館を第2・4月曜日開館とした）
- (68.4%) 13. 知っているものはない

問6 県立図書館は、図書の貸出しや調査相談（レファレンス）等のほか、今後どのような事業に取り組むべきだと思いますか。（○はいくつでも）

(N=2,791)

- (21.3%) 1. 講演会・研修会の開催
- (19.1%) 2. 読み聞かせ会など幼児・児童向けイベントの開催
- (18.8%) 3. 多様な機関・団体等と連携した企画展示の開催
- (18.2%) 4. 所蔵する貴重な郷土資料等を活用したイベントの開催
- (20.5%) 5. 移動図書館や宅配サービスの充実
- (11.3%) 6. 様々な情報提供や案内を行い利用者をサポートするコンシェルジュの設置
- (14.8%) 7. 商店街等と連携したイベントの開催等による地域活性化の取り組み
- (14.3%) 8. 高校生や障がい者施設の成果発表の場としてのマルシェや産直市等の開催
による賑わいづくり
- (9.2%) 9. その他

問7 県立図書館のICT機能について、どのような機能等があればより便利になると思いますか。
(〇はいくつでも)

(N=2,791)

- (21.6%) 1. 郷土資料のデジタル化の促進
 (23.0%) 2. 電子書籍の導入
 (9.4%) 3. 読書通帳(利用資料の貸出履歴作成)の導入
 (5.7%) 4. オンラインによるwebカメラを使った調査相談(レファレンス)サービス
 (32.2%) 5. スマートフォン対応の利用案内ページ等の充実
 (10.0%) 6. Facebook等のSNSでの情報発信の充実
 (13.2%) 7. YouTube等を活用した動画による図書案内
 (7.2%) 8. その他 []

「食育・地産地消・食の安全性」について、おうかがいします。

問8 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、食習慣や生活習慣に変化はありましたか。当てはまる番号に〇をつけてください。(〇はそれぞれ1つ)

(N=2,791)

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
1. 自宅で同居する家族と一緒に過ごす時間が増えた	(34.6%)	(28.2%)	(20.0%)	(12.9%)
2. 自宅で料理などを行い、家族と一緒に食べる機会が増えた	(28.8%)	(30.3%)	(24.4%)	(12.3%)
3. 業者の宅配などを利用する機会が増えた	(7.5%)	(11.6%)	(33.4%)	(43.2%)
4. インターネットショッピングなど通販を利用する機会が増えた	(13.1%)	(19.9%)	(26.6%)	(36.2%)
5. 食品を購入する際、普段より多く買うようになった	(13.7%)	(21.9%)	(41.9%)	(19.5%)
6. 食品を購入する際、地元産の農水産物等を積極的に買うようになった	(13.7%)	(29.0%)	(38.1%)	(15.6%)
7. 健康を意識した食生活をするようになった	(18.6%)	(39.5%)	(28.4%)	(10.3%)
8. 食品を購入する際、食品表示を確認するなど、食の安全安心を気にするようになった	(19.5%)	(33.1%)	(32.3%)	(11.9%)
9. 調理する際、食品の無駄をなくし廃棄物をなるべく出さないようになった	(17.8%)	(41.7%)	(27.9%)	(9.8%)
10. その他 []	(3.2%)	(0.6%)	(0.5%)	(0.5%)

問9 あなたは、「食育※」に関心がありますか。また、「食育」に関心がある場合、その理由は何ですか。

(○は1つ)

(N=2,791)

(25.0%) 1. 関心がある

(20.2%) 3. どちらかといえば関心がない

(42.3%) 2. どちらかといえば関心がある

(7.6%) 4. 関心がない

→【問10へ】

→【「食育」に関心がある理由】(○は3つまで)

(N=1,879)

- (50.6%) 1. 子どもの心身の健全な発育のために必要だから
(31.0%) 2. 食生活の乱れが問題になっているから
(19.9%) 3. 肥満ややせすぎが問題になっているから
(49.7%) 4. 生活習慣病(がん、糖尿病など)の増加が問題になっているから
(4.4%) 5. BSEの発生など、食品の安全確保が重要だから
(15.6%) 6. 食にまつわる地域の文化や伝統を守ることが重要だから
(16.8%) 7. 食料を海外からの輸入に依存しすぎることが問題だから
(3.8%) 8. 消費者と生産者の間の交流や信頼が足りないと思うから
(13.3%) 9. 有機農業など環境にやさしく安全でおいしい食料生産が重要だから
(27.8%) 10. 大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから
(16.9%) 11. 自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから
(1.4%) 12. その他 []

※「食育」とは、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことです。食べることは生涯にわたって続く基本的な営みであり、子供はもちろん、大人になってからも「食育」は重要であるとされています。

問10 食育として、あなたは特にどのようなことに力を入れたいと思いますか。(○はいくつでも)

(N=2,791)

- (19.9%) 1. 家族や友人と食卓を囲む機会を増やしたい
(13.1%) 2. 食事の正しい作法を習得したい
(38.1%) 3. 地域性や季節感のある食事をとりたい
(27.8%) 4. 地場産物を購入したい
(35.3%) 5. 食べ残しや食品の廃棄を削減したい
(22.4%) 6. 食品の安全性について理解したい
(5.0%) 7. 生産から消費までのプロセスを理解したい
(28.6%) 8. 美味しさや楽しさなど食の豊かさを大切にしたい
(52.0%) 9. 栄養バランスのとれた食生活を実践したい
(43.4%) 10. 健康に留意した食生活を実践したい
(12.2%) 11. 自分で調理する機会を増やしたい
(7.1%) 12. 家族と調理する機会を増やしたい
(23.2%) 13. 調理方法・保存方法を習得したい
(25.9%) 14. 規則正しい食生活を実践したい
(14.0%) 15. 食文化を伝承していきたい
(3.7%) 16. わからない
(0.7%) 17. その他 []

問11 あなたは食品(農林水産物)を購入する際、地産地消※を意識していますか。また、意識している場合、その理由は何ですか。(○は1つ)

(N=2,791)

(25.2%) 1. よく意識する

(22.5%) 3. あまり意識しない

(44.6%) 2. たまに意識する

(5.2%) 4. 全く意識しない

→【問12へ】

→【地産地消を意識している理由】(○は2つまで)

(N=1,947)

- (59.3%) 1. 鮮度がいいと思うから
(10.4%) 2. 価格が安いと思うから
(41.1%) 3. 安全性の面で安心だと思うから
(37.5%) 4. 産地への愛着・応援したいから
(21.9%) 5. 美味しいから
(1.4%) 6. 特に理由はない
(1.1%) 7. その他 []

※地産地消とは、国内の地域で生産された農林水産物(食用に供されるものに限る。)を、その生産された地域内において消費する取組みです。

問 12 食育や地産地消を推進するにあたり、あなたはどのような取組みを行うべきだと思いますか。

(○はいくつでも)

(N=2,791)

- (55.5%) 1. 産地直売所や朝市などの魅力アップ
- (42.5%) 2. 学校給食における県産農林水産物の利用拡大
- (29.7%) 3. 子どもを対象とした農業体験や調理体験などの食農教育の充実
- (13.1%) 4. Facebook や Twitter などの SNS を活用した情報発信の強化
- (17.7%) 5. 農林漁業者と食品製造業者が連携した新たな商品の開発
- (20.7%) 6. 農林漁家民宿・レストランなど県産農林水産物の魅力の発信拠点の充実
- (11.8%) 7. 食育・地産地消の推進に係る指導者の育成
(行政栄養士の配置や保育士等への食育セミナー等)
- (6.5%) 8. 企業が従業員に対して行う「健康経営」への支援の充実
- (16.0%) 9. 外食時に栄養バランスの良い食を選択するための栄養表示の推進
- (14.2%) 10. 共食の場 (こども食堂等) への支援
- (25.0%) 11. 郷土料理のレシピ動画の配信
- (23.3%) 12. 食品ロス削減のための環境教育等による啓発
- (3.3%) 13. その他 []

問 13 あなたは、日常生活の中で食品の安全性に不安を感じることはありますか。また、不安を感じる場合、どのようなことに不安を感じますか。(○は1つ)

(N=2,791)

- | | | |
|-----------------------|-------------------------|------------|
| (11.4%) 1. 不安を感じている | (34.7%) 3. あまり不安を感じていない | → 【問 14 へ】 |
| (42.8%) 2. やや不安を感じている | (6.2%) 4. 不安を感じていない | |

→ 【食品の安全性に感じる不安】(○はいくつでも)

(N=1,511)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| (70.2%) 1. 食品添加物 | (31.6%) 6. 食中毒 |
| (47.8%) 2. 残留農薬 | (21.2%) 7. 食品の放射能汚染 |
| (66.8%) 3. 輸入食品 | (17.4%) 8. アレルギー物質の表示もれや混入 |
| (32.1%) 4. 遺伝子組換え食品 | (20.4%) 9. 異物混入 |
| (33.6%) 5. 産地や賞味期限などの偽装表示 | (1.2%) 10. その他 [] |

問 14 あなたは、食の安全性を高めるためにはどのような取組みが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

(N=2,791)

- (41.8%) 1. 残留農薬検査、放射性物質検査等の強化
- (46.9%) 2. 食品関連事業者に対する品質管理・衛生管理の指導の強化
- (17.8%) 3. 食品の安全性に関する科学的な調査研究の推進
- (47.6%) 4. 食品の安全性に関する情報の収集と消費者への情報提供
- (28.1%) 5. 食品表示に関する啓発、監視、指導の強化
- (13.5%) 6. 消費者への食品の安全性に関する学習機会の提供
- (15.8%) 7. 食の安全性に関して専門的な知識を有する人材の確保・育成
- (17.1%) 8. 食品のトレーサビリティ※の強化
- (6.2%) 9. わからない
- (1.7%) 10. その他 []

※食品トレーサビリティとは、「生産、加工及び流通の特定の一つまたは複数の段階を通じて、食品の移動を把握すること」と定義されており、各事業者が食品を取り扱った時の入荷と出荷に関する記録を作成・保存しておくことです。

「ボランティア活動」について、おうかがいします。

問 15 あなたは、この1年間で何らかのボランティア活動に参加されましたか。(○は1つ) (N=2,791)

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| (0.1%) 1. 週3日以上参加している | (21.5%) 8. 参加したいとは思わない |
| (1.3%) 2. 週1、2日程度参加している | |
| (2.8%) 3. 月に1、2日程度参加している | |
| (10.7%) 4. 年に数日程度参加している | |
| (15.9%) 5. 以前に参加したことはあるが今は参加していない | |
| (22.8%) 6. 参加したいが機会がなく参加したことはない | |
| (21.7%) 7. 参加したいが事情により参加することができない | |

問 16 あなたは、過去に被災地での災害ボランティア活動（職業として行うものは除く）に参加したことがありますか。(○は1つ) (N=2,791)

- | |
|----------------------|
| (6.1%) 1. 参加したことがある |
| (92.0%) 2. 参加したことがない |

【 問 16 で「1. 参加したことがある」に○をつけた方にうかがいます。 】

→ 問 17 災害ボランティア活動に参加するにあたり、どのように情報を得ましたか。(○はいくつでも)

(N=171)

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| (24.0%) 1. 被災地災害ボランティアセンターのホームページ | (15.2%) 6. 広報誌 |
| (15.2%) 2. 被災県のホームページ | (45.0%) 7. その他 |
| (14.6%) 3. 新聞 | [] |
| (15.2%) 4. テレビ | |
| (6.4%) 5. Twitter や Facebook 等の SNS | |

【 問 16 で「2. 参加したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 】

→ 問 18 あなたが災害ボランティア活動に参加するにあたり、障害となっていることはどのようなことですか。(○はいくつでも)

(N=2,567)

- | |
|--------------------------------------|
| (18.7%) 1. 災害ボランティア活動に参加する方法が分からない |
| (47.3%) 2. 災害ボランティア活動に参加する時間がない |
| (19.0%) 3. 災害ボランティア活動に参加するのに必要な情報がない |
| (24.6%) 4. 被災地での活動に不安を感じる |
| (10.5%) 5. 家族や職場の理解が得られない |
| (13.9%) 6. 特にない |
| (15.2%) 7. その他 [] |

「自転車損害賠償責任保険等への加入」について、おうかがいします。

問 19 あなたは、普段の生活で自転車をどのくらい利用していますか。また、利用している場合、自転車損害賠償責任保険等に加入していますか。(○は1つ) (N=2,791)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| (3.4%) 1. ほぼ毎日利用している | (4.4%) 4. 月に1日程度利用している |
| (3.1%) 2. 週に2、3日程度利用している | (14.2%) 5. 年に数日程度利用している |
| (4.6%) 3. 週に1日程度利用している | (68.7%) 6. 利用していない ----->【問 21 へ】 |

--> 【自転車損害賠償責任保険等への加入状況】(○は1つ) (N=827)

(45.1%) 1. 加入している ----->【問 21 へ】

(54.1%) 2. 加入していない

【問 19 で「2. 加入していない」に○をつけた方にうかがいます。】

-> 問 20 自転車損害賠償責任保険等に加入していない理由を教えてください。(○は1つ) (N=447)

- | |
|--------------------------------------|
| (19.2%) 1. 保険等への加入が義務付けられた*ことを知らなかった |
| (5.1%) 2. 保険等の存在を知らなかった |
| (16.3%) 3. 保険等への加入の必要性を感じない |
| (7.6%) 4. 保険等への加入方法が分からなかった |
| (2.2%) 5. 保険等への加入の手続きが面倒だ |
| (0.7%) 6. 保険料が高い |
| (11.4%) 7. どの保険等に加入すべきかわからない |
| (3.8%) 8. 自分が加害者になることは考えられない |
| (1.3%) 9. 自転車購入時に保険等への加入に関する説明がなかった |
| (1.3%) 10. 年齢制限で保険等へ加入できないと思った |
| (2.5%) 11. 保険等へ未加入でも、罰則がない |
| (16.8%) 12. その他 [] |

*本県では、「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、本年7月1日から、自転車利用者等は自転車損害賠償責任保険等に加入することが義務付けられています。

問 21 自転車損害賠償責任保険等への加入状況を改善するためにはどのような取組みが必要だと思えますか。(○はいくつでも) (N=2,791)

- | | |
|--|------------------------|
| (63.4%) 1. テレビやラジオでのPR | (12.9%) 6. 駐輪場等での呼びかけ |
| (17.4%) 2. SNS (Twitter、Facebook、Instagram など)でのPR | (50.5%) 7. 学校や職場での呼びかけ |
| (25.5%) 3. 県広報誌でのPR | (59.6%) 8. 自転車販売店での周知 |
| (28.7%) 4. 新聞での告知 | (4.4%) 9. その他 [] |
| (31.3%) 5. 交通安全教室でのPR | |

「子育て環境満足度」について、おうかがいします。

問 22 あなたは、現在子育て中ですか。(○は1つ) (N=2,791)

(21.2%) 1. 子育て中 (72.6%) 2. 子育て環境にない -----> 【問 24 へ】

【問 22 で「1. 子育て中」に○をつけた方にうかがいます。】

-> 問 23 あなたまたはご家族は、子育てと仕事の両立のバランスがうまくとれていると思いますか。(○は1つ) (N=592)

(15.7%) 1. 取れている (13.9%) 4. あまり取れていない
(50.3%) 2. ある程度取れている (4.2%) 5. 取れていない
(15.2%) 3. どちらともいえない

問 24 あなたがお住まいの地域には、子ども連れで出かける場所や遊べる場所は充実していると思いますか。(○は1つ) (N=2,791)

(5.4%) 1. 充実している (29.1%) 4. あまり充実していない
(24.2%) 2. ある程度充実している (15.4%) 5. 充実していない
(20.7%) 3. どちらともいえない

問 25 あなたがお住まいの地域には、子どもや子育てを通じて家庭が支えられている(ていた)と感じる人や組織等が充実していると思いますか(町内会や子ども会、近隣住民とのお付き合い等も含みます)。(○は1つ) (N=2,791)

(5.7%) 1. 充実している (20.0%) 4. あまり充実していない
(28.8%) 2. ある程度充実している (6.6%) 5. 充実していない
(32.7%) 3. どちらともいえない

問 26 あなたがお住まいの地域の学校教育環境について満足していますか。(○は1つ) (N=2,791)

(9.6%) 1. 満足している (11.6%) 4. あまり満足していない
(33.6%) 2. ある程度満足している (3.7%) 5. 満足していない
(35.4%) 3. どちらともいえない

問 27 あなたがお住まいの地域の学校外活動(文化芸能の伝承、音楽・芸術活動※、スポーツ活動※、教室学習活動※)について満足していますか。(○は1つ) (N=2,791)

(5.8%) 1. 満足している (15.0%) 4. あまり満足していない
(27.5%) 2. ある程度満足している (5.4%) 5. 満足していない
(40.1%) 3. どちらともいえない

※文化芸能の伝承、音楽・芸術活動：地域に伝わる文化芸能の伝承活動、楽器の練習・レッスン、絵画、音楽教室など

※スポーツ活動：スイミングや野球、サッカーなど

※教室学習活動：学習塾、英会話・英語教室、習字など

問 28 あなたがお住まいの地域では、安全で安心な子育て環境が整っていると思いますか。(〇は1つ)

(N=2,791)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (6.4%) 1. 整っている | (13.4%) 4. あまり整っていない |
| (38.7%) 2. ある程度整っている | (4.3%) 5. 整っていない |
| (31.7%) 3. どちらともいえない | |

問 29 あなたがお住まいの地域では、自然環境に恵まれた中で子育てができると思いますか。(〇は1つ)

(N=2,791)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| (21.1%) 1. 自然環境に恵まれている | (7.8%) 4. あまり自然環境に恵まれていない |
| (45.7%) 2. ある程度自然環境に恵まれている | (1.1%) 5. 自然環境に恵まれていない |
| (18.4%) 3. どちらともいえない | |

問 30 子育てをしていく上で、悩みや不安を相談・解決するために活用したい(した)サービスはありますか。(〇はいくつでも)

(N=2,791)

【子育て支援サービス】

- (10.7%) 1. 子育て世代包括支援センター
- (24.9%) 2. 子育て支援センター
- (31.0%) 3. 医療費助成
- (8.1%) 4. ひとり親家庭応援センター
- (18.1%) 5. やまがた子育て応援パスポート
- (4.3%) 6. 子育てタクシー
- (6.8%) 7. やまがた子育て応援サイト
(情報収集・メール相談)

【保育支援サービス】

- (33.3%) 8. 保育園・放課後児童クラブ
- (11.1%) 9. 病児・病後児保育
- (11.4%) 10. 一時預かり
- (5.6%) 11. ファミリーサポートセンター

【就労支援サービス】

- (4.1%) 12. マザーズジョブサポート

【その他】

- (2.4%) 13. その他
- (24.9%) 14. わからない

「やまがた緑環境税」について、おうかがいします。

問 31 平成 19 年 4 月にスタートした「やまがた緑環境税」は、令和 2 年度で 14 年目を迎えますが、あなたは「やまがた緑環境税」や税の趣旨※について知っていますか。(〇は1つ)

(N=2,791)

- | |
|--------------------------------------|
| (17.4%) 1. 負担していることやその趣旨を知っている |
| (16.1%) 2. 負担していることは知っていたが、趣旨は知らなかった |
| (64.4%) 3. 負担していることも、趣旨も知らなかった |

※森林の持つ県土の保全、水源かん養などの公益的機能の維持増進、持続的発揮を図るため、荒廃の進んでいる森林を整備するなど、県民みんなで支える森づくりを進めるための財源として、住民税の納税義務者を対象に、個人から年 1,000 円、法人などから年 2,000 円～80,000 円の税負担をいただくものです。

問 32 県民みんなで支える森づくりのために、あなたは、どのようなことに参加・協力したいと思いますか。(〇は3つまで) (N=2,791)

- (23.3%) 1. 植樹祭などのイベントに参加したり、身近な県民の森などで自然に触れることにより森林に親しみ、その働きを学びたい
- (21.9%) 2. 県産材を使った木製品や、ペレットストーブを使うなど、県産木材資源の活用に協力したい
- (9.1%) 3. 森林や自然環境の大切さを伝える、自然環境教育などのボランティア活動に協力したい
- (7.9%) 4. 植林や枝打ち、下刈りなどの森の手入れ、森林パトロールなど、森林環境保全のためのボランティア活動に参加したい
- (28.0%) 5. 特に参加・協力したいと思うことはない
- (27.0%) 6. わからない
- (3.1%) 7. その他 []

問 33 やまがた緑環境税を活用した森づくりを進めるにあたって、あなたは、どのような取組みが重要だと思いますか。(〇は3つまで) (N=2,791)

- (42.1%) 1. 荒廃が進んでいる里山などの森林を、環境保全機能の高い森林へ再生する取組み
- (45.4%) 2. 将来にわたって森林を守り育てるため、管理放棄をした森林所有者に代わって森林組合などが管理を行う仕組みづくり
- (23.0%) 3. 森づくり体験や自然観察会などの体験型・参加型のイベントの開催による、県民と森や自然環境との触れ合いの機会の拡大
- (19.1%) 4. 身近な生活空間に木を積極的に利用し、県民が木と触れ合える機会を増やす取組み
- (9.6%) 5. 森林ボランティアなどによる、森づくりや自然環境の保全活動などの活性化の推進
- (8.3%) 6. 森づくりに対する県民の理解を深めるため、森林を学び森林に親しむための講座などの開催
- (29.3%) 7. 森林内に放置されている未利用木材を熱エネルギー源などに有効利用し、資源の循環利用を進める取組み
- (20.2%) 8. わからない
- (3.5%) 9. その他 []

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて**8月31日(月)**までにご返送ください。

